

平成29年度 教員による自己評価について

文化幼稚園

平成29年度の当園の教員による自己評価をご紹介します。

評価方法は、4点法(4:とても思う 3:まずまずと思う 2:あまり思わない 1:全く思わない)で行ないました。評価内容は、教員としての良識や義務、教育内容及び指導計画、保育のあり方、保護者との連携、環境の構成など16の「評価分類」に分け、さらに細分化した81の「評価内容」について分類したものです。全体を通しての平均は3.6になりました。その中から特に重要と思われるものを選び、下の表にまとめました。表には各「評価分類」において、評価が最も高かったものと最も低かったものの「評価内容」について記載しています。

なお、教員の他職員も自己評価を行い、全体の平均評価は3.5となりました。

評価分類	評価内容	平均評価
園の教育理念・教育方針の理解	園の教育理念や教育方針を理解している。	3.8
	園の目指す幼児の姿を具体的にイメージできる。	3.8
環境の構成	安全で清潔感のある環境構成をしている。 幼児の活動がより豊かになるように、活動の展開に応じて環境を再構成している。	3.7
	幼児が自ら活動を生み出していけるような教材との出会いを考えている。 幼児の活動がより豊かになるように、活動の展開に応じて環境を再構成している。	3.6
健康と安全への配慮	けがや事故には特に気をつけ、年齢に応じた適切な環境や言葉がけを行っている。 換気、室温など流行性、感染症などの防止に気をつけている。	3.8
	基本的な生活習慣に関して常に指導をしている。	3.7
幼児のみとりと理解	幼児の話やサインを受けとめ、一人ひとりを観察している。	3.8
	幼児同士のかかわりの姿を捉えている。 幼児がいま興味や関心をもっていることがわかる。	3.6
指導計画	幼児の実態などをもとに週案等作成している。 指導計画の内容・ねらいが適切であったか評価反省し、次の指導につなげている	3.8
	地域の自然や文化施設・行事を指導計画に位置づけている。	3.4
保育のあり方と幼児への対応	幼児の理解のために保護者と話し合うようにしている。 幼児が自ら考えたり工夫したりできるように見守り、アイデアを提供している。	3.7
	幼稚園教諭として専門知識や技能を身につけている。	3.3
保護者との情報交換	長欠や入院などの場合は見舞ったり、クラスの様子を伝えている。	3.7
	クラス運営や自分の考え方を知らせている。	3.3
専門性に関する研修や研究	自分の保育については課題をもって計画と反省を行っている。 自分の保育について、他の教師や園長と話し合っている。	3.6
	遊具や教材についての研修・研究を行っている。	3.1
今日的課題	(幼稚園が関わる)新制度の動向に注視し学習している。 チーム保育について、その意義やあり方について学習している。	3.5
	障がいのある子に対応する保育のあり方を学習している。	3.0

評価項目が多岐にわたっており、すべてをご紹介しますが、今年度に関しては前年度より点数が25項目高くなりました。問題点を的確に把握・整理し、資質向上に努め、取り組んだことが反映されたと思っております。自己評価の結果により今後改善すべき点については、更なる見直しを図り、新たな取組みにつなげていきたいと思っております。園全体としても「魅力ある幼稚園づくり」を目指し、教育水準の向上に努めて参りますので、これからもよろしく願い申し上げます。